



自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
I 理念に基づく運営			
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事務所内に理念を掲示しており、理念を共有し統一したケアが出来るようスタッフ会議で話し合いを行い、理念の共有、実践を行っている。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の小学校の運動会に招待していただいたり、また敬老会には保育園児が歌と手作りの作品をプレゼントして下さっている等地域との継続した付き合いがある。正月には、市内の皆様が、獅子舞で訪問して頂き、納涼祭には地域の多くの方のボランティアをいただくなど日常的に交流している。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	中学生や高校生の職場体験の受け入れを行うことで認知症の方への理解を深め、支援方法を広める機会を設けている。
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者の状況報告、外出時の報告など行い、出席者から様々なアイデアや意見を頂き、スタッフ会議で報告することで、職員全員が情報を共有しケアの向上に活かしている。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	入退去状況の報告や様々な質問や相談などを行うことで日頃から市町村との連携を行っている。このため、利用者の紹介をして下さったり介護認定情報をいただいたりと相互の協力関係を構築している。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束について勉強会を行っている。玄関脇が道路になっているためやむを得ず施錠しているが、中庭で日光浴したり、散歩に出たりと自由な過ごし方への支援を心がけている。利用者の中には、徘徊の方もおられるが、職員が寄り添い一緒に行動することで落ち着きを取り戻して頂ける。職員全員が身体拘束ゼロを考えながらケアの取り組んでいる。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待に関しても勉強会を行っている。事務所内にマニュアルを掲示し、職員全員が行動や言動に注意しながら虐待防止・虐待ゼロに努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関する資料をもとに勉強会を行っている。現在活用されている利用者はいないが今後の可能性もあるためすべての職員が制度の理解をしている。
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項説明書に基づき説明し、不安な点や質問を尋ね、十分納得・理解していただいた上で契約している。
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置してあるが今までに投函されたことはない。ご家族の意見を聞き、現在の状況を説明するため、面会時に管理者や職員が居室にお邪魔してお話させて頂き職員間で共有しケアに活かしている。その他、いつでも意見や相談の電話をいただける様説明している。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は、毎日のミーティングに話をしたり、スタッフ会議において、様々な意見交換を行い要望や意見を聞いて、代表者に説明し様々な相談をする事で働きやすい職場となる様努めている。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者は、職員が話しやすい環境づくりに努め、いろいろな話をしながら職員の状態の把握に努めている。代表者は、随時管理者と話し合いを持ち、職員の状態把握に努め、職場環境・条件の整備に努めている。
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者は、勉強会において、職員に資料作成から発表まで、考えながら実行できるよう場を設けている。代表者は、職員の外部研修の場を設けると共に、資格取得においても積極的に参加を促すことで職員の職業能力を高め、幅を広げられる機会を積極的に提供している。
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	外部研修に参加し、情報の交換を行い交流を図っている。またその後はスタッフ会議で話し合うことでサービスの質の向上に繋げている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用前に、自宅に訪問するか、施設まで出向いていただき、ゆっくりと話をする期会を設け、不安な事や疑問点などを聞いている。希望により、お試し利用をして頂くことで不安を安心に変える信頼関係を構築している。
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人や御家族と話をしながら、時に訪問をし、不安な事、要望、質問などを伺いながら初期の信頼関係を築いている。
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、ご家族からお話を伺いながら、どのようなケアが必要なのか、何を希望しているのかを見極めながら、様々なサービスを考え納得して頂いた上でサービスの利用が出来るよう支援している。
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常生活の中で、自分に出来る事をして頂き、会話を交わしながら支え合える良好な関係づくりを心がけている。
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	居室担当を持ち、近況報告書を毎月送付すると共に、面会時には、現在の状況を説明し、一緒に話をするなどして共に支えあう関係づくりをしている。
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居前からの友人が、迎えに来られ一緒に選挙に出かけている等これまでの関係が途切れないよう支援をしている。また、ご家族が迎えに来られ、東京まで一緒に行き数日外泊されて孫様に会って来られたりしている等利用者の希望に応じた支援を行っている。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者それぞれに、食器洗いや片づけなど出来る事を協力しながら行っている。洗濯物干しやたたみも、声掛けしながら出来ない方の分を手伝って頂くなどお互いが支え合えるよう支援している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	隣接する施設に移られた方へ一緒に面会に行ったり、ご家族にお会いした際も声掛けを必ずするなど変わらない関係づくり、および温かい支援に努めている。
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	1人ひとりに寄り添い、話を聞きながら、希望や考えている事などの把握に努めている。訴えが困難な場合は、職員の声掛けには返事が出来るので、様々な声掛けを行いながら把握に努めている。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族、ケアマネージャーから生活歴、馴染みの物などを聞き状況の把握に努め職員間で共有している。
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人の様子や状態の変化、気づきなどを介護日誌や支援経過に記入し、職員が確認する事で現状の把握とケアの統一に努めている。
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアマネージャーと居室担当者が中心になり、本人や御家族から話を聞き、カンファレンス時に職員からの意見やアイデアを基に介護計画を作成している
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護日誌に、排泄、食事量、水分、詳細、気づきの項目があり、職員がすぐに確認でき、情報を共有しながらケアに活かしている。その記録を参考にカンファレンスで話し合い随時介護計画に活かしている。
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	外出・外泊にも柔軟に対応している。本人の希望どうりに行かないこともあるがその際はご本人およびご家族が納得できるよう説明し理解して頂いている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	法人主催のイベント時には、地元ボランティアの皆様と協力していただいている。また多くの皆様は定期的に参加していただき地域との共生・協働の機会を得ている。
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	契約時に説明し、かかりつけ医の相談をしている。法人以外を受診する場合は、ご家族に受診のお願いをしている。その際は、職員が同行するかもしくは情報提供を行っている
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	法人内の看護師と連携を常に取り、急変時や必要時は駆けつけていただいている。
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は、情報提供書を作成し、退院に向けて病院関係者と情報交換するなど、病院関係者との信頼関係構築を行っている。
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化対応や看取りは行っていないため、契約時に説明し理解して頂いている。利用者が、他の施設待ちをしている際に重度化することも考えられるため、ご家族、主治医、看護師、職員の連携を密に今後も支援に取り組んでいきたい
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時に備え勉強会を行い、話し合っている。カウンターにマニュアルを置き常に確認できるようになっている。
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署・地元消防団に協力して頂き日中、夜間を想定し避難訓練を職員が交代で訓練を行い、機器説明を年4回実施している。その他、災害に備え、法人管理で備蓄している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	排泄に声掛けや衣類交換等、一人ひとりの声掛けに注意し、自尊心を傷つけない等対応している。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	買い物や出前、外食など本人の希望を聞いている。自分から訴え無い方には、いくつかの選択肢をあげて選んでいただいているなど自己決定の機会をつくっている。
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者それぞれが、自分のペースで生活されている。体調を考えながら、レクリエーションや手伝いなど声掛け行っている
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ヘアカットは声掛けし行っている。また買い物時にクリームやリップ等を購入している利用者もおられるなど身だしなみへの支援を行っている。
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の好き嫌い、アレルギーまたは、体調に合わせてメニューを変更している。生活改善委員会の中で希望のメニューや出前・外食のメニュー等決めていただいている。食事の準備や片づけはそれぞれに出来る事を手伝って頂いている。
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の食事量、水分量を介護日誌に記入し体調によりメニューを変更するなど、一日一人の状態に応じた支援を行っている。
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアを実施している。就寝前は、利用者により義歯洗浄剤を使用したり、一部介助にて清潔保持している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄状況を記録し、職員が排泄パターンを共有し、トイレで排泄できるよう随時声掛けしている。自分でトイレに行かれる利用者でも、行くまでに失禁してしまうことが多い為少し早目の声掛けを行うことで、失禁が少なくなった方もいる。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便状況を記録し、運動や水分、乳製品を取るなどしている。利用者の中には、便秘の方もおられる為、主治医と相談しながら内服にてコントロールしている。
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	午前、午後の入浴やシャワー浴等利用者の希望に合わせて入浴して頂いている。季節を感じる為に「菖蒲湯・ゆず湯」等行事浴を設定し楽しんでいただいている。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中、散歩や体操など出来るだけ体を動かして頂いている。また、使い慣れた枕を持参されたり居室の温度管理をし、冬は湯たんぽを利用される方もおられ、その時々で対応している。
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	各入居者の内服状況をファイルし、薬の使用目的を理解し、職員で共有しながら症状の変化の確認をしている。
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	1人ひとりの生活歴や今出来る事を行って頂いている。起床時や、お茶時などは「お茶、コーヒー、紅茶」等、好みの物を聞いて飲んでいただいている。外出や買い物など気分転換できるよう支援している。
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	定期的に外食や買い物・遠足等希望を取り外出している。ご家族と一緒に食事やお墓参りに出かけたりするなど、急な外出にも対応できるよう支援している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	貴重品は事務所で預かりしているが、利用者の中には、自分でお金を管理され、買い物時は好きなものを購入されるなどしている
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	娘様や遠方に住んでおられる息子様から電話があり、居室やカウンターで話をされているなどコミュニケーションの機会を大切にした支援をしている。その際には職員から状況の報告をさせて頂いていることで信頼関係の継続を確認している。
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	居室入口には、季節ごとの飾りを作っていたき貼り付けている。ユニット間をつなぐ渡り廊下には、行事の写真を張り付けている。日中は、音楽を流したりして落ち着いて過ごせる工夫をしている。
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	冬は、こたつに入り談話をしたり、テレビを見たりしている。ソファに座り談話したり、中庭で日光浴されるなどそれぞれが自由にくつろげる場になっている。
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	家族の写真を持ってきて飾っている方もおられる。読書が好きな利用者は、いつでも好きな本が読めるように本棚を用意している。
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	玄関から段差をなくし、トイレ内は赤い波上の手すりでつかまりやすくなっており、職員は、利用者が今出来る事を見極め、出来る限り自立した生活が送れるよう支援している。

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○ 1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○ 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない